

かがやく

ハーモニーひたちなか

第15号
2013.9発行
編集/発行
ハーモニーひたちなか
ひたちなか市女性生活課

親子でじゃがいも掘り体験

6月23日、勝倉にある「ファミリー農場わたなべ」でハーモニーひたちなか会員の「おやこ劇場 ゆめひろば」によるイベントが開催され、親子23組とスタッフを含めて総勢57人が参加しました。



▲親子でバター作り



▲みんなで楽しいじゃがいも掘り



▲じゃがいもたくさん取れたよ



協力をいただいた「ファミリー農場わたなべ」の農場主である渡辺さんから掘り方を聞いた後、親子は一齐にじゃがいもの茎を力いっぱい引っ張り、次々に掘り上げては歓声を上げていました。掘り上げたじゃがいもは子どもたちが洗い、ふかしてもらっている間に親子でバターを手作りし、それをつけて熱々をおいしそうに食べていました。他にも農場内の田んぼにいるカエルやザリガニを見つけて遊ぶなど、いろいろな自然体験を通じて親子の絆づくりができ、楽しい一日を過ごせたようです。

このイベントを企画した「おやこ劇場ゆめひろば」のスタッフはこれからも子どもたちのための芸術鑑賞や創造・体験活動を通じて、子ども達が心豊かに育っていく子育ての環境を作っていきたいと語っていました。



親子でじゃがいも掘り体験の参加者から、感想をいただきました。



パパ

他県から来たばかりなのでこういうイベントが嬉しい。

普段は仕事が忙しくて子どもとふれあう時間が少ないので、今日のイベントに参加して良かった。



おやこ劇場ゆめひろばスタッフ

女の子も男の子も年齢も様々な集団になったので、それがよい体験を生んでいましたね。

みんな夢中で掘っていましたね。



▲楽しそうな子ども達



ママ

みんなで遊ぶ事が出来て、楽しそう。(泥んこになって遊ぶ子ども達を見て)



男の子

おにぎりもはじめてつくったぞ！
(とっても得意そうに)

僕が掘ったんだ。おいしかったよ。

平成25年度 ハーモニーひたちなか総会開催

5月15日、男女共同参画センターにて、ハーモニーひたちなか総会が開催され、事業・決算報告、監査報告、新年度事業計画・予算承認、役員改選が行われました。

今年は、2期にわたって会長を務めた小塚三千代さんから、武田裕子さんに会長職のバトンが渡りました。小塚さんのこれまでのご尽力への感謝と共に、新会長への応援の拍手が会場から湧き上がりました。

議事終了後は消費生活センターによる講座が開催され、消費トラブルに巻き込まれないようにその対処法を学びました。



▲総会の様子

ハーモニーひたちなかは男女共同参画センターを拠点とし、男女共同参画社会の実現を目指す市民団体の連合体です。平成25年度は次の13団体が活動しています。

男女共同参画とは、男性や女性という性別に固定されず、人として暮らしやすい社会を作ることが目的としています。市内で活動している方や団体のみなさん、ハーモニーひたちなかで一緒に活動しませんか。

〔加入団体〕

●WING●おやこ劇場ゆめひろば●ひたちなか商工会議所女性会●新日本婦人の会ひたちなか支部●パートナーシップ・イコール会●ひたちなか市更生保護女性の会●わだちの会●生活クラブ生協ひたちなか●火曜会●青春会●レッツ・ビギン●さわやかウォーキング会●いきいきヘルス体操クラブ



▲消費生活センター講座の様子

次世代につなげるシニアの元気！

第32回全国大会 in 茨城

7月12日、13日にNPO法人高齢社会をよくする女性の会により、茨城県立県民文化センターで全国大会が開催されました。2日間にわたり「次世代との交流」「科学技術と超高齢社会への貢献」「女性参画による新しい地域と家族の創造」をコンセプトに記念講演や高齢社会を様々な角度から考えるシンポジウム、分科会が行われ、参加したハーモニーひたちなか会員からその様子について報告がありました。

記念講演

人・宇宙・未来～夢を追いかけた4000日

山崎直子さん

日本人女性2人目の宇宙飛行士としてスペースシャトルに搭乗するまでの11年間の訓練や家族のこと、宇宙に滞在した15日間の生活や各種実験の様子について話がありました。

また、「大切なものは身近にある」「世の中には自分の力で変えられないこともあるが、自分で働き掛けられることは小さくても必ずある」と語りました。

シンポジウム

今どき 日本の家族絵巻

人生100年時代がやってこようとしているなか、8名のシンポジストが婚活・子育て・定年・介護・看取りなど、個人に訪れる様々な人生の節目について語り合いました。

茨城県では各市町村とも連携しながら7年前より結婚支援を推進し、成婚数1,000組を達成したとの事です。しかし雇用が不安定であり、未婚率が

増えているという現状もあり、「雇用と収入の安定、男に仕事を、女に仕事を」と語られたシンポジストの意見に拍手が起こりました。さらに、育児や定年後の夫婦のあり方、介護のための退職者の増加などについても意見が交わされ、誰にでも必ず訪れる老後や看取りを家族と語り合い、工夫して乗り越えていかなければならないとの発言もありました。

各シンポジストの小気味良い発言は、質のよい舞台劇を観ているようで、会場も笑いあり拍手ありの熱気あふれるシンポジウムとなりました。

NPO法人高齢社会をよくする女性の会は、高齢社会における問題の調査研究や福祉と社会教育の推進、政策提言などを通し、男女共同参画の視点から望ましい高齢社会の実現に向けて活動しています。



分科会

高齢社会の安心・安全まちづくり

日本の20年後は総人口の3人に1人が高齢者となり、超高齢社会になると予想される中、県内各分野のパネリストから様々な取組みが報告されました。

建築士による「まちづくり委員会」からは、廃校利用でのコミュニティ作りや歴史的な街並での新しいまちづくりへの挑戦、行政代表からは、災害時に安心して暮らせる取組み、さらに福祉コミュニティづくり県民運動員からは成人大学、防災、防犯組織、サロンの立ち上げについてなど安心のまちづくりを目指しているとの報告がありました。

「自助、公助、共助の連携が新しい時代を開く」ということが話し合われた分科会となりました。

家族と本人の自立と次世代につなぐ女性の活動

女性だから…という枠にとらわれず、継続と粘り強さで土木関係の工事事務所副所長までになったドボジョ（土木関係の仕事や研究に携わる女性）、女性の視点を大いに活かし授乳服の開発で起業した経営者、若い世代に農業の大切さをメルマガなどで伝える努力をしている若い女性農業者、地域における家庭教育学級という学びの場で、若いママさんたちをサポートする仕事を通じて自分が元気をもらっているという社会教育指導員、それぞれみんな立ち位置は違っても、生き生きと今を語っていただきました。コメンテーターは「女たちのネットワークの力で社会を変えることができる」とまとめました。

素敵な老後の暮らし方～シリーズ高齢期の過ごし方⑤～

今回は、地元自治会と地域のボランティアグループが子育て支援に取り組む「ひたちなか子どもふれあい館」の館長雨宮太刀雄さんに寄稿いただきました。

私は水戸市内で男6人、女4人の10人兄弟の9番目に誕生しました。両親が朝早くに起床し家事を済ませて畑に出かけるため、末の私たちの面倒見や道徳及び家庭教育などは、兄や姉の役割だったと思われまます。特に忘れられない光景が、農作業から帰宅した母親の姿です。疲れきった身体にむちをうち、姉たちと夕食の準備と後片付けを済ませ、子供たちの洋服の繕いを夜なべしていたことです。

そのような環境で育てられた私がボランティアに目覚めたきっかけは、13年ぶりに42歳で娘を授かった事でした。可愛さのあまり、妻に代わって幼稚園や小学校行事に出席する機会が多くなりました。

やがて小中高のPTA会長を仰せつかり、時には保護者側に、ある時は学校側に立って問題解決に当たってきました。その経験が大いに役立ち地域の子どもの健やかな成長と子育て中の親御さんの相談相手を担うようになりました。

今後も自己研鑽に努め、自治会が自主管理運営している「ひたちなか子どもふれあい館」で自分の経験をもとに、ボランティアとして、活動をしていきたいと思っています。



映画紹介

「人生いろどり」を観て

期 日 平成25年6月6日
場 所 ひたちなか市文化会館

「人生いろどり」ひたちなか上映実行委員会により、映画の上映会が企画され、ハーモニーひたちなか会員も協力して行われました。この映画は徳島県上勝町の女性や高齢者が中心となって「葉っぱ」(つまもの)を売る地域ビジネスを始め、成功した実話をもとになっています。映画を観た会員から感想が寄せられました。

ハーモニーひたちなか会員 人見幾子

高齢の女性達が活躍する映画というイメージを持って鑑賞に臨みましたが、農家のお母ちゃん達が耐えて耐えて年を重ねてきた姿、自分たちでは何事も決めることが出来なかった女性の歴史から物語が始まりました。そして高齢化が進み農業で生活することをあきらめかけていたその町で、平均年齢70歳の女性達が「葉っぱ」をビジネスにしようと立ち上がります。女性たちは料亭に調査に行き、研究を重ね、支え合いながら、「私は葉っぱをやる」と自ら家族に宣言していく姿はとても感動的でした。そして「葉っぱ」は付け足しではなく、地域の人達にとって大切な生活の糧となり生きがいとなったのです。

地域とのつながりに着目し、きっかけとアイデアで女性の力、高齢者のエネルギーが花開く社会を作ってきたJAの若き仕掛け人にも大きな拍手を送りたいと思いました。

男女共同参画センターからのお知らせ

11月は男女共同参画強調月間です。
ハーモニーフェスタ2013を開催します。

☆ハーモニーフェスタ2013

日時：11/2(土)午前9時～午後3時30分
場所：ひたちなか市総合体育館メインアリーナ
内容：各団体による展示・発表など

☆ハーモニーひたちなかフォーラム

日時：11/16(土)午後1時30分～3時30分
場所：ワークプラザ勝田 多目的ホール
内容：男女共同参画推進事業所表彰
男女共同参画キャッチフレーズ表彰
トーク&ライブ 「夢をつかむ法則」
出演：アニヤンゴ(向山恵理子)さん
ニヤティティ(ケニヤの楽器)奏者

お問合せは
男女共同参画センターまで

TEL&FAX : 029-354-0167
E-mail : danjo282@juno.ocn.ne.jp



編集後記

今回、高齢社会を考えるイベントに参加して、高齢者問題は介護や社会保障費の問題ばかりではないと思えました。少子化も人口の高齢化に追い打ちをかけており、それに歯止めをかけるべく「婚活」の支援が盛んになっていきますが、40代の未婚男女の比率は年々上がっています。

人生百年時代は、男も女も固定的な性別役割意識にとらわれず、自分らしく生き抜くことが求められています。と感じました。(Y・M)